



ニホンファインセラミックス

日本ファインセラミックス 株式会社

担当者から一言

私たちは、他社ができないことを、技術力と現場力で実現する会社です。

管理本部 課長
瀬戸由晃

ファインセラミックスの世界でキラリと光る会社です

業務範囲

企画・研究

開発・設計

試作/小ロット

量産

資材調達

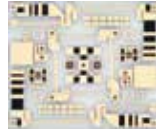
組立

検査・評価

製品・技術の特徴

■ 技術の特徴

- セラミックスが持っている優れた特性を生かした用途や製品への応用展開 (耐熱性、高強度、電気絶縁性、耐薬品性、耐摩耗性等)
- お客様の求める機能・性能を持った部品の具現化 (素材選定・形状加工等)
- 軽量・高剛性・高耐久のセラミックス部材の使用により、従来部品よりも、スリム化、軽量化、長寿命化を実現 (コスト削減、省エネ、省資源につながる)
- 試作品等の少量生産から量産品まで対応 (必要な時に必要な量を提供)
- RoHS等の法規制による使用禁止物質は不含有 (昨今の厳しさを増す法規制にも対応)



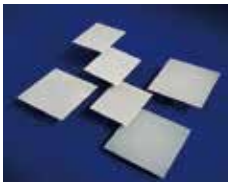
薄膜集積回路部品



エンジニアリングセラミックス製品



金属セラミックス複合材料製品



高熱伝導窒化珪素基板

■ 主な製品

- エンジニアリングセラミックス製品 (炭化珪素、窒化珪素、アルミナ、ジルコニア)
用途: 摺動部品、耐熱部品、耐薬品部品、耐摩耗部品、電気絶縁部品
- エレクトロニックセラミックス製品 (アルミナ基板 他)
用途: 各種センサ用基板、キャパシタ・抵抗体用基板
- 薄膜集積回路 (導体 (Ti/Pd/Cu/Ni/Pt/Au) の組み合わせ)
用途: LED等の光デバイス用のサブマウント、通信機器の薄膜メタライズ基板
- 金属セラミックス複合材料 (アルミニウム/SiC複合材 他)
用途: 各種精密機械装置用部品 (高速移動/急停止する大型の部品等)
- 高熱伝導基板 (窒化珪素)
用途: 自動車車載用基板 等

イチ押し技術

- 長年培ったセラミックス加工技術 (大型、寸法高精度、平滑性、平面度、平行度等)
- 薄膜集積回路形成のための成膜・パターン形成技術
- 求める機能に合わせ最適化された配合 (ベース金属/セラミックス) の金属セラミックス複合材料
- 業界 No. 1 水準の高熱伝導率で、コストパフォーマンスの高い窒化珪素基板

企業情報

URL	http://www.japan-fc.co.jp/
所在地	〒981-3206 仙台市泉区明通3-10 TEL:022-378-7825 FAX:022-378-7832
代表者	代表取締役社長 足立 茂
資本金	3億円
従業員	326人 (国内計351人) (2019年7月現在)
沿革	1984年 泉事業所 (現本社工場) 開設 1992年 本社を現所在地に移転 2012年 株式会社東技研 子会社化 2014年 MMC事業 継承 2015年 横浜営業所を東京に移転 2018年 富谷事業所 開設
面積 (本社工場)	本社工場 敷地 14,414㎡ / 建物 6,062㎡ MMC第1工場 敷地 10,039㎡ / 建物 6,187㎡ MMC第2工場 敷地 12,651㎡ / 建物 5,256㎡ 富谷事業所 敷地 14,017㎡ / 建物 1,434㎡



社屋写真

事業の概要

(事業の特徴、生産品目/生産高(ロット)/売上高、取引先、設備)

■ 事業内容

- エンジニアリングセラミックス製品の製造・加工
- エレクトロニックセラミックス製品の製造・加工
- 薄膜集積回路部品の製造・加工
- 金属セラミックス複合材料の製造・加工
- 高熱伝導窒化珪素基板の製造・加工

■ 主要取引先

- イーグル工業(株)
- 三菱電機(株)
- 住友電工(株)
- キヤノン(株)
- (株)ニコン

■ 生産設備

名称	台数
ボールミル	10台
ピーズミル	2台
スプレードライヤー	4台
焼成炉	22台
スパッタ装置	4台
NC旋盤	10台
平面研削盤	7台
グライディングセンター	6台
三次元測定機	2台

NEW
更新

NEW
更新

NEW
更新

連絡先

担当者	管理本部 課長 瀬戸由晃
TEL	022-378-7825
FAX	022-378-7832
E-mail	info@japan-fc.co.jp

許可・認証 (ISO対応・許認可等)

■ ISO9001(取得年 2013年)、ISO14001(取得年 2014年)